

シェアサイクル促進計画

Promotion Plan for Bicycle Sharing

グループ名：チーム石田

学生氏名^①：石田萌華、川合輝、工藤幹太、西村広美

指導教員 教員氏名：前田幸男

所属先：創価大学 法学部 法律学科 前田幸男研究室

キーワード：自転車、エコポイント

1. 背景

近年、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」に対する解決策と、八王子市を含め、日本・世界各地で自転車の有用性を見つめ直す動きが盛んである。八王子には緑が多いが、自動車や原付バイクから排出される数多くのガスが植物に悪影響を及ぼし、時には植物を枯らしてしまうこともある^②。原付バイクを利用している大学生らに街頭インタビューを行ったところ、複数名が「自転車を買うくらいなら、原付バイクの免許を取った方がいい」と答えた。つまり、原付バイクそのものの利便性というよりは、自転車を買うことに対して抵抗があることが分かった。また、大学内で112名に自転車の利用頻度に関するアンケート調査を行ったところ、週1回程度、月に1～3回程度と答えた割合は20%近くあった。つまり、自転車を持っているが、使用頻度が比較的高くない人が複数いることがわかる。

そこで今回、自転車を持っているが使用頻度が低い人と、自転車の購入をためらう人の

間で自転車を共用し合い、市民間の交流を通して八王子市内からの温室効果ガス排出量を抑制するため、本提案をする。

2. 提案

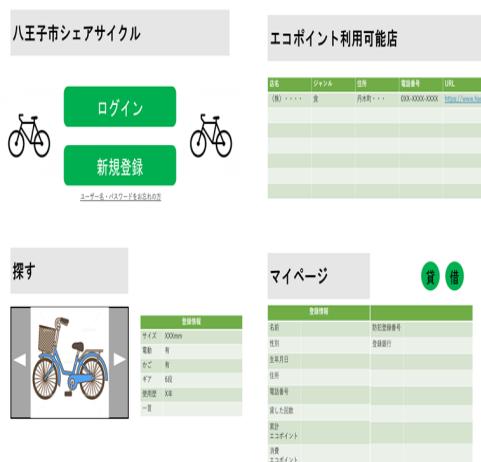
①概要

自転車の使用頻度が少ない人が、自身の自転車を貸すことで、借り手の車や原付バイクの利用を減らすことができる。現在、八王子市は八王子駅周辺、西八王子駅周辺にシェアサイクルの運用実験を行っているが、借りる場所は駅周辺である。また台数も限られている。個人間でのレンタルのやりとりは、より地域に根ざして運用でき、低価格で、自分の家の周辺で貸し借りをすることでさらに便利になる。

②個人間シェアサイクルアプリ

借り手の位置情報を基に周辺の利用可能な自転車情報（自転車の写真・ギア有無・電動有無・かご有無等）が表示され、借り手は条件に合った自転車を選択し申し込みを行うことが

できる。また、アプリには、エコポイントが利用可能な店の一覧が表示される箇所(エコポイント制度と本制度の連動については後述)や、個人の貸し手または借り手としての情報が確認できるマイページがある。そして、貸し手と借り手がやりとりできるCHAT機能もあり、アプリを通じて自転車の貸し借りを行うことができるシステムとなる。



③エコポイント

貸し手に利益として、お金だけではなく、貸した回数分だけエコポイント、借り手は走行距離でエコポイントを貯めることができ、(例 500m につき 1 ポイント) それを八王子市内のお店で商品か割引券として使える制度にする。お店側の利益としては、エコポイントと商品を交換する際に、SNS やマイページを使ってお店の宣伝をしてもらう。地域の活性化にも繋がる。「エコ」という言葉を用いた理由は、今まで車、バイクなどを使っていた人が、排気ガスを出さない自転車を使うことで温室効果ガスを減らすことに貢献できると考えられるからである。

④料金

回数で料金を設定した場合、短い距離と長い距離の利用者の間に不平等が生じる。また、

時間で料金設定をした場合、利用時間中に自転車に乗っていなくても料金が加算されることから、長時間駐輪したい利用者にとって好ましくない。よって借り手が支払う料金は距離によって設定される(例 2 km 毎 100 円)。

⑤自転車の GPS 付ロック

自転車の持ち主は、本提案のアプリにてサービスの利用を申し込み、ロックやステッカー、操作ガイドパネルの入った「キット」を受け取る(キット代は借り手によって支払いが行われる)。ロックやパネルなどを自転車に取り付けて写真を撮り、アプリに投稿し、貸し出しを始める。持ち主が、自分で使いたい場合は、提供を一時停止できる。実際にデンマークで「air donkey」²という同等のシステムがあり、その成功例をもとに八王子独自のシステムを制作予定である。

⑥駐輪場所

貸し手の自宅またはその周辺の公園など貸し手が指定した場所が駐輪所となる。回収は貸し手が行う。また、既に駐輪スペースを確保している民間事業者に許可をもらうことにより貸し手の指定可能場所を増やしていく。駐輪場をシェアサイクル用に共有する民間事業者はシェアサイクル事業の運用利益の一部を得ることができる。

参考文献

1. Car Me 「車の排気ガスってどんな成分? なんで環境に悪いの?」 <https://car-me.jp/articles/8095> 2020年9月27日閲覧
2. Cnet Japan 「自転車をシェアするサービス『Air Donkey』コペンハーゲンで試験運用」 <https://japan.cnet.com/article/35072317/> 2020年9月閲覧